

第1問

設問A

(1)寒冷な気候で地表が海氷や積雪に被覆されているが、それらが融解すると太陽光の反射率が低下して気温が上昇しやすくなるため。

(2)海水の熱膨張

(3)永久凍土が融解することで蓄積されていたメタンなどの温室効果ガスが大気中に放出され、さらに地球温暖化を加速させる。

(4)基礎を永久凍土層まで打ち込んでいる建造物が、永久凍土の融解で地盤が軟らかくなることで倒壊するという被害が多発する。

設問B

(1)アアマゾン川 イーメコン川 ウー黄河 エーポー川

(2)ダムとえん堤の整備により河川流量の変動が小さくなり、植林などによる土壌保全も進んで土砂が海まで流出しにくくなったから。

(3)ダムやえん堤の建設の際に森林が無秩序に伐採されることで、土壌が侵食されやすくなり、土砂となって河川や川に流入するから。

(4)河口砂州は津波や高潮の内陸部への侵入を防ぐ役割を果たすが、河口部での洪水発生時に河川水の海への流出を妨げることがある。

第2問

設問A

- (1)情報や高度な人材が集まり、流行に合わせた製品を作れるから。
- (2)経済成長により賃金が上昇している中国に代わり、低賃金労働力が豊富で安い製品を作れるベトナムからの輸入額が増えたから。
- (3)大量生産が前提のファストファッションが広まったことや、気温などの予想外の変化により、天候に適さない衣類が売れ残るから。
- (4)中古の衣類は安価で売買されるためアフリカ諸国などの輸入国の国内の衣類が売れなくなることや、輸入国で適切にリサイクルされず廃棄されることで環境汚染を引き起こしていること。

設問B

- (1)A－北海道 B－福岡県 C－京都府 D－沖縄県
- (2)3県とも大都市があり仕事などで日本人宿泊者を集めているが、東京都などと比べ外国人に人気な観光地が少ないから。
- (3)宿泊施設の新規開業のための開発により地価が上昇する地域が発生するため、地価の安い地域に住民が移動している。
- (4)地域の自然を保全しつつ観光に活用するエコツーリズムの推進が考えられるが、活用が適切になされないと、ゴミや外来種の持ち込みなどでかえって生態系に悪影響を及ぼすことが懸念される。

第3問

設問A

- (1) 東京23区への通勤・通学を容易にする鉄道などの交通網の整備。
- (2) 南西部には横浜市などの大規模な港湾都市が早くから発達し東京23区との交通網が整備され、対照的に東部は開発が遅く東京23区との時間距離が南西部より長く人口が集まりにくかったから。
- (3) バブル崩壊による都心部の地価下落や、高層住宅の増加で人口の都心回帰が起きたことや、郊外での過剰な開発による住環境の悪化や、高齢化と人口流出により開発が行われにくくなったから。

設問B

- (1) 感染症対策が進められたことで健康意識が高まり死亡率が低下したことと、留学や海外勤務から帰国する日本人が増えたこと。
- (2) 留学生が多い大学や専門学校などが集中している地域。
- (3) 人口が集中し感染リスクの高い東京都を離れ帰省する人が増えたことや、テレワークの普及により地方への移住が進んだため。
- (4) スマートフォンのアプリケーションを利用した行動経路の記録。